

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和3年度～令和7年度）
研究開発課題名	ヒアルロン酸ナノゲルによるポリペプチドの可溶化・生体内輸送機能解析とワクチンへの応用
代表機関名	旭化成株式会社
研究開発代表者名	勝又 徹

総合評価：優れている

【評価コメント】

本研究は、ヒアルロン酸ナノゲルの送達技術への応用を目指し、HA ナノゲル／ポリペプチド／アジュバント製剤の最適化を進めるとともに、アジュバント非添加条件においても抗体誘導が可能であることを実証した。さらに、サイトカイン産生が認められないことから、高い安全性を有するワクチン製剤となる可能性が確認できた点は評価できる。また、課題間連携におけるシーズ対応は限定的であったが、本技術が疎水性の高いシーズとの相性に優れている点を見出したことは、適用が期待されるシーズの特性を明確にした成果として評価できる。

今後、実用化を目指す上で、げっ歯類以外の動物での試験など種差の可能性を検討しつつ、本研究成果に基づき、HA ナノゲルを用いた感染症ワクチンの実用化・社会実装及び抗原ポリペプチドを用いたワクチンへの進展等、今後のワクチン開発への貢献を望む。

以上